



担当課	文化振興課
担当者	中井、東
電話	073-435-1194
内線	3026

令和6年度 和歌山市文化表彰について

令和6年度和歌山市文化表彰の受賞者が決まりましたので、お知らせします。

【表彰概要】

本市文化の向上発展に特に顕著な功績のある個人又は団体に対し、その功績をたたえ表彰します。昭和57年度から実施しており、本年度で43回目を迎えます。

- 過年度の文化表彰被表彰者数：185件
- ・文化賞 41件（個人：41名）
 - ・文化功労賞 76件（個人：74名、団体：2団体）
 - ・文化奨励賞 68件（個人：39名、団体：29団体）

1 受賞者（50音順・敬称略）

- (1) 文化賞（文化の向上発展に特に顕著な業績を残したと認められる方を表彰）

氏名	生年	住所	出身地	分野
<small>あらい さだこ</small> 新井 貞子	昭和19年	和歌山市	下津町 (現海南市)	マリンバ奏者

- (2) 文化功労賞（文化の向上発展に貢献し、その功労が特に顕著である方を表彰）

氏名	生年	住所	出身地	分野
<small>おかべ たかし</small> 岡部 たかし	昭和47年	東京都	和歌山市	俳優
<small>てらにし かずみ</small> 寺西 一巳	昭和40年	和歌山市	和歌山市	ヴァイオリニスト

- (3) 文化奨励賞（優れた文化の創造又は普及活動を続け、市民の文化向上に寄与されている方を表彰）

氏名	生年	住所	出身地	分野
<small>こてら かな</small> 小寺 香奈	昭和52年	和歌山市	大阪府	ユーフォニアム奏者
団体名	創立	所在地		分野
<small>わかやまけんふくわじゅつぎょうかい</small> 和歌山県腹話術協会	昭和55年	和歌山市		腹話術

2 表彰式（予定）

- (1) 日時 令和6年11月3日（日） 午後1時30分から午後2時30分まで
(2) 場所 和歌山城ホール 4階 大会議室

3 賞

表彰状、きしょう徽章（団体には楯）及び副賞をお贈りします。

4 その他

表彰式への参加を希望される報道機関におかれましては、事前に担当課までお問い合わせくださいますようお願いいたします。

※表彰式は、関係者以外立ち入り禁止です。

《 令和6年度和歌山市文化表彰受賞者 》

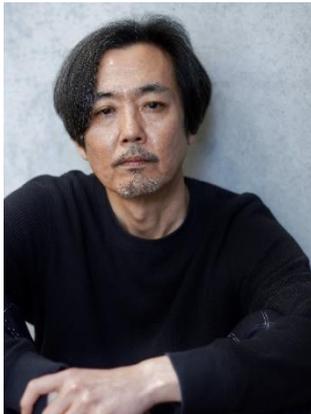
【文化賞】

新井 貞子



【文化功労賞】

岡部 たかし



寺西 一巳



【文化奨励賞】

小寺 香奈



和歌山県腹話術協会



令和6年度和歌山市文化賞

あらい さだこ 新井 貞子

住 所 和歌山市
出身地 和歌山県海草郡下津町（現海南市）
生 年 昭和19年
マリンバ奏者

◎業績及び経歴

大阪音楽大学附属高等学校を経て、昭和42年に同大学音楽学部器楽学科打楽器専攻を卒業。これまでに小川順子、小川雅弘、山高哲誠、朝吹英一、平岡養一の各氏に師事する。

昭和42年にデビュー演奏会である「第1回マリンバリサイタル」を開催。爾来、昭和51年、昭和53年には、関西マリンバ協会ジョイントリサイタル、昭和58年、昭和63年、平成4年には、同協会創立の記念コンサート、平成18年には、大阪いずみホールでの「ミズノ・マリンバの世界」に出演するとともに、大阪音楽大学オーケストラ、関西フィルハーモニー管弦楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団など、関西の主要オーケストラと協演し、本市におけるマリンバの第一人者として精力的な演奏活動を続けている。とりわけ、昭和62年の和歌山県民文化祭の「マリンバアンサンブル WAKAYAMA」、平成6年の世界リゾート博の「マリンバアンサンブル」、平成8年の和歌山市音楽芸術フェスティバルの「新井貞子マリンバの世界」、「紀の国わかやま文化祭2021」のマリンバと炭琴とのコラボレーションや市民文化まつりへの長年にわたる参加など、本市の音楽文化のさまざまな場面での活躍に目覚ましいものがある。

また、自身の演奏活動と並行して、昭和46年に始まった和歌山県民文化会館主催の「クリスマスチャリティーコンサート」を契機に、平成24年に紀伊半島を襲った大規模土砂災害の被災地支援、東日本大震災やアジアの子どもたちへの支援など、さまざまなチャリティーコンサートに参加を続け、音楽を通じた社会貢献活動に積極的に取り組むほか、幼稚園・保育園に通う子どもたちへ音楽リズムを教えるなど、後進の指導にも力を注いでいる。

マリンバの魅力は、快い木の音色にあり、それを心行くまで楽しんでほしいという想いが込められた氏の長年にわたる演奏活動、社会貢献活動、後進の指導は、マリンバの普及と本市の音楽文化の振興・発展に大きな役割を果たし、その功績は極めて顕著である。

■現在

- ・マリンバ・エミール主宰
- ・日本マリンバ協会賛助会員
- ・日本クラシック音楽コンクール審査員
- ・和歌山アーティストバンク登録アーティスト

■主な受賞

平成6年	平成6年度和歌山県文化奨励賞
同19年	平成19年度和歌山市文化功労賞
同年	平成19年度地域文化功労者文部科学大臣表彰

令和6年度和歌山市文化功労賞

おかべ

岡部 たかし

住 所 東京都
出身地 和歌山市
生 年 昭和47年
俳優

◎業績及び経歴

高校卒業後、24歳で役者を志して上京。「劇団東京乾電池」に所属する。劇団退団後は、CMディレクター・脚本、演出家の山内ケンジ氏がプロデュースする「城山羊の会」公演をはじめ、数多くの公演に出演する。

NHK大河ドラマでは、平成22年放送の「龍馬伝」を皮切りに、「八重の桜」「真田丸」「西郷どん」と出演を重ね、令和3年放送の「青天を衝け」では渋沢栄一の盟友である大倉喜八郎を演じた。

令和4年放送のドラマ「エルピスー希望、あるいは災い」では、プロデューサー村井喬一役を演じ一躍その名が広まった。

令和6年度前期放送のNHK連続テレビ小説「虎に翼」では、主人公の父という重要な役柄を演じており、令和5年度後期放送「ブギウギ」から2期連続での出演を果たしている。

近年は、ドラマ、映画、舞台、CMと幅広く活躍するとともに、自身が立ち上げた演劇ユニット「切実」では役者のほか演出も手掛ける。

特筆すべきは、NHK大河ドラマや連続テレビ小説へ継続的に出演している点である。時代劇から現代劇まで幅広い役柄を演じ、その演技力と表現力は高い評価を得ている。また、舞台俳優としての経験を生かし、演劇ユニットの立ち上げや演出活動にも精力的に取り組んでいる。このような多彩な活動を通じて示された卓越した表現力と、テレビドラマや映画、舞台芸術の分野における顕著な功績は、高く評価されるものである。

■現在

株式会社クリオネ所属

令和6年度和歌山市文化功労賞

てらにし かずみ
寺西 一巳

住 所 和歌山市
出身地 和歌山市
生 年 昭和40年

ヴァイオリニスト

◎業績及び経歴

城北小学校2年生の時にヴァイオリンを始め、伏虎中学校、桐蔭高等学校を経て、京都市立芸術大学音楽学部弦楽専攻を卒業。これまで、ヴァイオリンを岸邊百百雄、東儀祐二、久合田緑、澤和樹、田井美千代、吉永清子、小形啓子、多田忠二郎の各氏に、室内楽を上村昇、亀田美佐子の両氏に師事する。

平成2年に渡欧し、ウィーン国立音楽大学において、ヴァイオリンをクラウス・メツツル、ヨゼフ・ヘルの両氏に師事する。平成5年にオーストリアの州立チロル交響楽団に入団し、在団中はオーケストラ活動の他に室内楽やレコーディングでも活躍する。平成10年に帰国した後は、ピアノに小林道夫氏を迎えてのリサイタルをはじめとして、関西を中心にソロや室内楽の活動を行い、テレマン室内管弦楽団のソリストやコンサートマスター、大阪交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、奈良フィルハーモニー管弦楽団、アンサンブル神戸、アマービレフィルハーモニー管弦楽団のゲストコンサートマスターなど多彩な活動を続けており、現在は、奈良フィルハーモニー管弦楽団、和歌山フィルハーモニー管弦楽団、KOBE バッハ合奏団のコンサートマスターやアンサンブル・アルビレオの指導者、尼崎市民交響楽団の指揮者として手腕を発揮している。

また、平成30年、令和元年、令和3年に小林道夫氏と開催したデュオリサイタルは好評を博し、平成25年には、ソリストとして和歌山市交響楽団と協演するとともに、紀の国わかやま文化祭2021では、(公社)日本アマチュアオーケストラ連盟・和歌山市交響楽団主催「オーケストラの祭典」や和歌山市民オペラ協会主催「稲むらの火の物語－梧陵と海舟」のコンサートマスターとして尽力するなど、本市音楽文化の振興に多大な貢献をしている。

■現在

- ・特定非営利活動法人奈良フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター
- ・一般社団法人和歌山フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター
- ・KOBE バッハ合奏団主宰・コンサートマスター
- ・アンサンブル・アルビレオの指導者
- ・尼崎市民交響楽団指揮者
- ・MBS こども音楽コンクール審査員

令和6年度和歌山市文化奨励賞

こてら かな 小寺 香奈

住 所 和歌山市

出身地 大阪府

生 年 昭和52年

ユーフォニアム奏者

◎ 業績及び経歴

12歳からユーフォニアムを始める。

平成12年に東京藝術大学音楽学部器楽科ユーフォニアム専攻を卒業。これまでに、ユーフォニアムを稲川榮一、外園祥一郎、三宅孝典の各氏に師事する。

大学卒業後、埼玉県警察音楽隊でユーフォニアム奏者として勤務した後、東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程において音楽文化学を専攻。平成18年より各地でリサイタルを開催し、平成20年からは同時代の作曲家と協働して多くの新作の初演を行っており、平成26年には「ディスカバリー・ユーフォニアム」という新しいリサイタルシリーズを開始してユーフォニアムのレパートリーの開拓に積極的に取り組んでいる。

現在はソロや室内楽で活動するほか、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、大阪フィルハーモニー管弦楽団など国内の主要オーケストラやオオサカ・シオン・ウインド・オーケストラなどの吹奏楽団への客演を重ねており、令和3年の角田鋼亮指揮セントラル愛知交響楽団の公演では、世界初演となる山本裕之作曲の「ユーフォニアム協奏曲」のソリストとして共演を果たし好評を博す。

また、演奏会活動のほか、上野学園大学などの非常勤講師や東京藝術大学アトリエゾンセンターの学術研究員を務め、平成24年から和歌山大学教育学部講師、平成25年から准教授として音楽教育に携わり、平成25年から平成26年にかけて同大学の教職員海外派遣によりドイツのケルンにおいて、アンサンブル・ムジークファブリックやケルン音楽舞踏大学で研鑽を積む。

氏は、演奏会活動と教育の両面において、本市音楽文化の振興に大きく貢献しており、今後の更なる活躍が期待される。

■現在

- 和歌山大学准教授
- 日本管楽芸術学会会員
- 日本音楽表現学会会員
- 日本音楽教育学会会員

■主な受賞

令和元年 令和5年度公益財団法人大桑教育文化振興財団大桑文化奨励賞

■CDアルバム

平成28年 ディスカバリー・ユーフォニアム

令和6年度和歌山市文化奨励賞

わかやまけんふくわじゅつきょうかい 和歌山県腹話術協会

所在地 和歌山市
代表 宮本 敏企
創立 昭和 55 年

腹話術

◎ 業績及び経歴

和歌山県腹話術協会が発足した契機は、本市の小学校において給食を担当していた教諭が子どもたちの偏食や食べ残しの解消のために考え付いた「腹話術」による授業であり、腹話術の第一人者であった川上のぼる氏の指導を受けて始まった。その授業が広がりを持ち、小学校教諭、保育士、消防士、主婦、自治体職員など多彩な顔ぶれ9名により本協会が設立された。

本協会は、会員の発表会として、毎年「腹話術の祭典」を開催し、日頃からの腹話術のスキルを磨くほか、講習会などを開いて腹話術の普及活動を継続して行っている。なお、「腹話術の祭典」は協会設立の翌年である昭和56年に第1回を開催し、本年度第42回を迎えた。

さらに、本協会は高齢者施設等への訪問公演を通じて、腹話術の魅力を幅広い層に伝えている。高齢者を対象に、敬老会や食事会その他様々な機会に腹話術を披露しており、これらの活動は高齢者の文化活動促進にも寄与している。このように、本協会は地域における文化の裾野を広げる重要な役割を果たしている。

また、平成26年に和歌山市市民公益活動団体に登録することで、芸能・娯楽としてだけでなく、小学校や高齢者施設など各種施設への訪問活動を行い、腹話術を通して人権・防災・交通安全の語りかけを続けており、その功勞により令和4年に和歌山県知事表彰を受けている。

本協会の40年以上にわたる継続的な活動は、地域文化の発展と社会教育の推進に多大な貢献をしている。腹話術という独特の表現方法を通じて、教育現場での食育から地域の安全啓発まで、幅広い分野で社会に寄与してきた功績は極めて顕著であり、高く評価される。

■現在

和歌山市市民公益活動団体

■主な受賞

平成 25 年	和歌山県社会福祉協議会会長表彰
同 27 年	和歌山県知事感謝状
令和 4 年	和歌山県知事表彰